

地域貢献に関する情報開示

平成 22 年 12 月

株式会社 青森銀行

目 次

	(頁)
地域貢献について	・・・・・・・・ 1
I. 地域貢献に関する考え方	
II. 地域貢献に関する取組み状況	・・・・・・・・ 2
1. 地域への信用供与の状況	
(1) 貸出業務全般の状況	
① 貸出金残高	
② 県内向け貸出金残高、シェア	
(2) 中小企業向け貸出業務の状況	・・・・・・・・ 3
① 中小企業向け貸出金残高、シェア	
② 中小企業向け貸出先数	
③ 中小企業向け融資商品の提供内容と個人保証に過度に 依存しない融資残高の公表について	・・・・・・・・ 4
④ 青森県信用保証協会保証付貸出金残高、シェア	・・・・・・・・ 5
⑤ 地方公共団体の制度融資への取組み状況	
(3) 個人向け貸出業務の状況	・・・・・・・・ 6
① 個人ローン残高、件数	
② 貸出金残高に占める個人ローン残高、シェア	
③ うち住宅関連融資残高、件数	
④ うち消費者ローン残高、件数	
⑤ 県内の個人ローン残高、件数	・・・・・・・・ 7
⑥ 県内向け貸出金残高に占める県内の個人ローン残高、シェア	
⑦ うち住宅関連融資残高、件数	
⑧ うち消費者ローン残高、件数	
⑨ 個人向けローン商品の提供内容	
2. 地域のお客さまへの利便性提供の状況	・・・・・・・・ 8
(1) お客さま接点の状況	
① 店舗の状況	
② ATMの状況	・・・・・・・・ 9
③ ダイレクトチャネルの展開	・・・・・・・・ 10

(2) 預金業務等の状況	・・・・・・・・ 12
① 総預金残高	
② 個人預金残高、シェア	
③ 県内の総預金残高、シェア	
④ 県内の個人預金残高、シェア	
⑤ 預り資産残高、件数	・・・・・・・・ 13
⑥ うち公共債	
⑦ うち投資信託	
⑧ うち個人年金・一時払終身保険、年金払積立傷害保険	
⑨ 県内の預り資産残高、件数	・・・・・・・・ 14
⑩ うち公共債	
⑪ うち投資信託	
⑫ うち個人年金・一時払終身保険、年金払積立傷害保険	
⑬ 地域のお客さまへの利便性提供に資する取組み状況	・・・・・・・・ 15
(3) その他	・・・・・・・・ 16
① 子会社等を通じた利便性提供の状況	
3. 地域経済活性化への取組み状況	・・・・・・・・ 17
(1) 地元企業に対する経営サポートの状況	
① 地元企業の経営相談等への取組み状況	
② 地元企業の再生への取組み状況	・・・・・・・・ 18
(2) 企業育成への取組み状況	
(3) 地方公共団体の事業との関係	・・・・・・・・ 19
4. 地域への支援活動の状況	・・・・・・・・ 20

地域貢献について

本資料は、地域貢献に関する当行の基本的な考え方を示し、「地域への信用供与の状況」「地域のお客さまへの利便性提供の状況」「地域経済活性化への取組み状況」「地域への支援活動の状況」などの取組み状況について、具体的に開示したものです。

今後とも、地域の皆さまのために、より充実した情報開示に努めてまいります。

I. 地域貢献に関する考え方

当行は、青森県を主要な営業基盤とする地域金融機関として、「地域のために お客さまとともに 人を大切に」の企業理念の下、地域社会の繁栄と地域経済の発展に寄与することが重要なテーマであると認識しております。

具体的には、経営の健全性を確保しつつ、本業である銀行業務を通じて、地域の皆さまへの円滑な資金供給と良質な金融サービスを提供していくほか、中小企業の経営支援など、地域経済活性化に向け取り組んでいくことが地域貢献のあり方だと考えています。

また、地域社会に根ざした良き企業市民として社会的責任を果たすことも重要であると考え、学術・文化・スポーツ振興支援や社会福祉、環境保護活動などさまざまな分野で地域社会に貢献してまいります。

※ 「地域」とは・・・当行が主要な営業基盤としている「青森県」を指しています。
なお、預貸金の「県内」の記載数値は青森県内に店舗を構える営業店のみの合計値です。

Ⅱ. 地域貢献に関する取組み状況

※ 記載金額は表示している単位未満を切り捨てています。

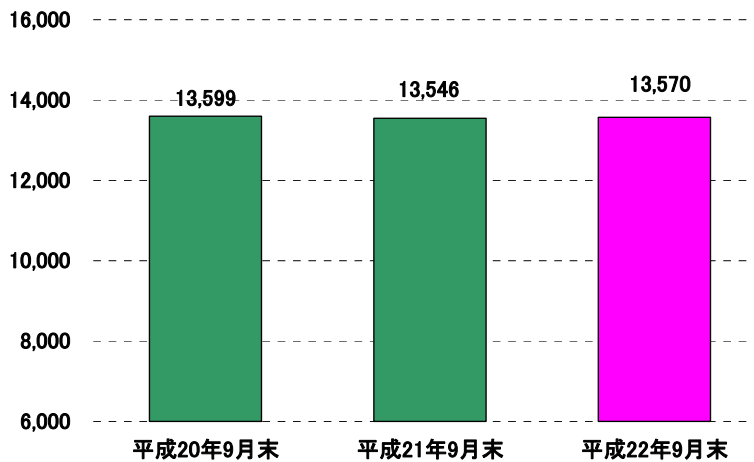
また、構成比率その他の比率は、表示している単位未満を切り捨てています。

1. 地域への信用供与の状況

(1) 貸出業務全般の状況

① 貸出金残高

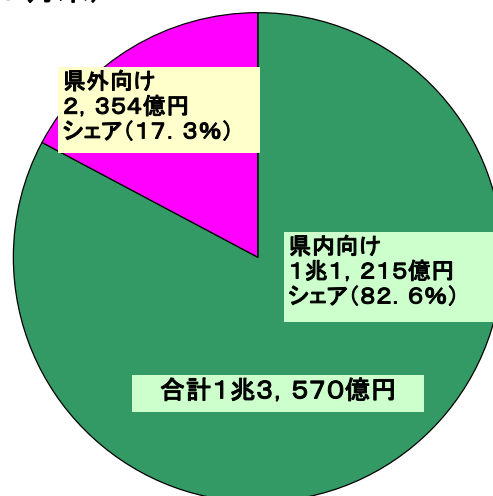
(億円)



平成22年9月末の貸出金は、前年同月比0.1%増加し1兆3,570億円となりました。

② 県内向け貸出金残高、シェア

(平成22年9月末)

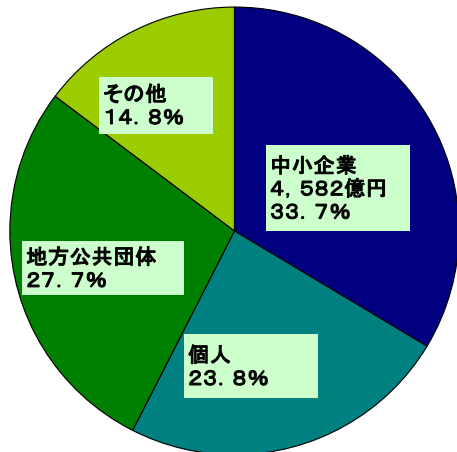


地元青森県内への貸出金は1兆1,215億円であり、貸出金全体の82.6%を占めています。

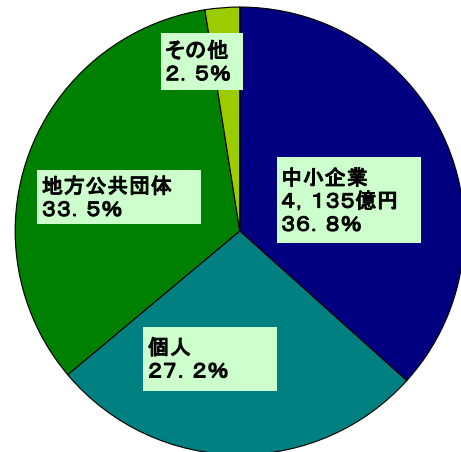
(2) 中小企業向け貸出業務の状況

① 中小企業向け貸出金残高、シェア

中小企業向け貸出金残高・シェア
(平成22年9月末)



県内中小企業向け貸出金残高・シェア
(平成22年9月末)



当行の貸出金全体に占める中小企業向け貸出金のシェアは33.7%であり、県内向けでは、36.8%のシェアとなっています。

② 中小企業向け貸出先数

中小企業者の定義

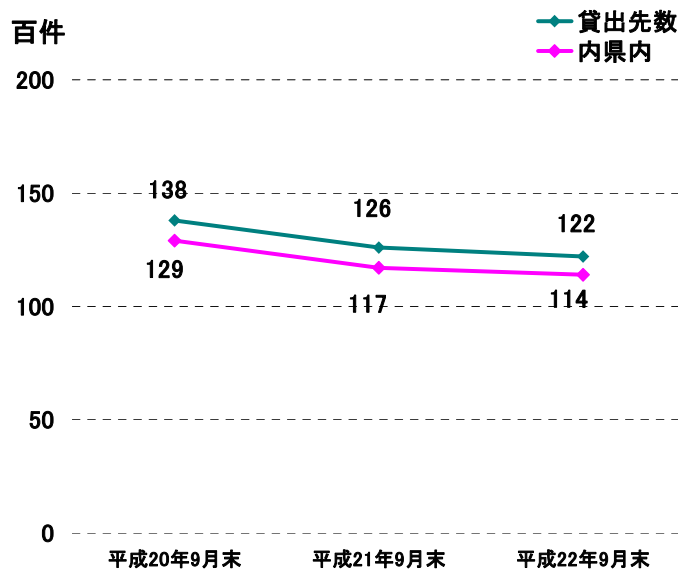
業種：従業員規模・資本規模

製造業・その他の業種：300人以下又は3億円以下

卸売業：100人以下又は1億円以下

小売業：50人以下又は5,000万円以下

サービス業：100人以下又は5,000万円以下



③ 中小企業向け融資商品の提供内容と個人保証に 過度に依存しない融資残高の公表について

お客様の資金調達ニーズの多様化に合わせてとともに、個人保証に過度に依存しない各種商品をご用意しています。これからも、お客様の声にお応えするために、商品ラインナップの充実に務めてまいります。

◎ 中小企業向け融資商品一覧

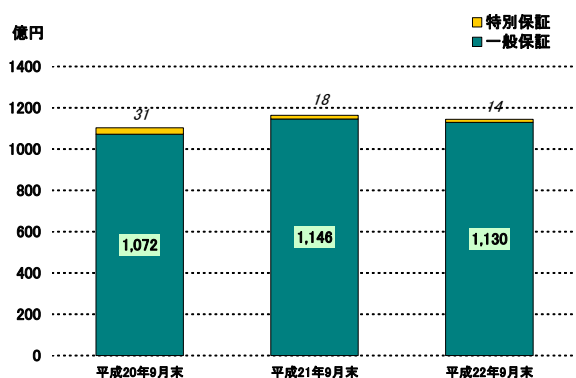
種類	内容	ご融資金額	ご融資期間
あおぎん バックアップローン (スコアリングモデル)	青森県信用保証協会の保証を受けられる法人および個人事業主にご利用いただけます。最高3,000万円まで原則無担保・第三者保証人不要の条件で、原則3営業日にご回答いたします。	最高3,000万円	運転資金・・・ 5年以内 設備資金・・・ 7年以内
あおぎん スピードローン (スコアリングモデル)	業歴3年以上でオリックス㈱の保証を受けられる法人および個人事業主にご利用いただけます。無担保・第三者保証人不要の条件で、最短2営業日以内にご回答します。	100万円以上 1,000万円以内 (10万円単位)	5年以内
あおぎん ビジネスローン デュオ	全ての法人および個人事業主の方にご利用いただけます。原則無担保・第三者保証人不要の条件で、中小企業を支援いたします。	100万円以上 1億円以内 (100万円単位)	7年以内
あおぎん TKC戦略経営者ローン (スコアリングモデル)	設立3年以上でTKC会員と顧問契約締結1年以上の法人にご利用いただけます。無担保・第三者保証人不要の条件で、中小企業を支援いたします。	100万円以上 2,000万円以内 (10万円単位)	運転資金・・・ 5年以内
あおぎん スピードチャージ (スコアリングモデル)	業歴2年以上で青森県信用保証協会の保証を受けられる法人および個人事業主にご利用いただけます。最高3,000万円まで原則無担保・第三者保証人不要の条件で、最短即日ご回答いたします。	3,000万円以内	運転資金・・・ 10年以内 設備資金・・・ 15年以内

◎ 個人保証に過度に依存しない融資 (平成22年9月末残高)

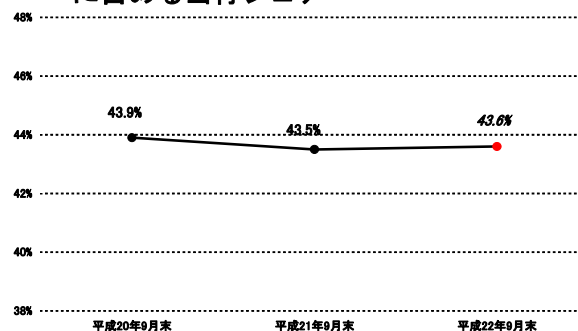
区分	件数	残高
コベナンツ(財務制限条項)を活用した融資	2件	11百万円
スコアリングモデル(財務評点)を活用した融資	501件	2,245百万円
動産・債権譲渡担保融資	0件	0百万円
知的財産担保融資	0件	0百万円
(その他)当行格付を活用した融資	632件	7,077百万円

④ 青森県信用保証協会保証付貸出金残高、シェア

青森県信用保証協会保証付貸出金残高



青森県信用保証協会保証付貸出金全体に占める当行シェア



当行は中小企業の円滑な資金調達に資するため、積極的に青森県信用保証協会の保証付貸出を推進しております。平成22年9月末の同協会保証付貸出金残高は1,144億円（一般保証1,130億円、特別保証14億円）であり、同協会保証付貸出金残高全体に占める当行シェアは43.6%とトップシェアとなっています。

特別保証とは・・・中小企業の安定した資金調達のために政府が創設した「中小企業金融安定化特別保証融資制度」のことで、平成10年10月から平成13年3月まで実施されました。特別措置として、一般保証とは別枠で行われた制度のため、通常の一般保証とは区別して管理されています。現在は制度の取扱いが終了しているため新規の取扱いがなく返済により残高は減少しています。

⑤ 地方公共団体等の制度融資への取組み状況

当行は、国や県市町村の制度融資を取扱いし、地元の中小企業の皆さまに対し円滑な資金供給に努めています。

(主な国・地方公共団体融資制度)

◎ 景気対応緊急保証制度

金融不安や経済の収縮による悪影響により、必要な事業資金の円滑な調達に支障を来している中小企業者に対し、事業資金を供給することにより、中小企業者の事業発展に資することを目的としています。

平成22年9月末 取扱残高 1,955件 451億円

◎ 青森県経営安定化サポート資金

企業倒産等により影響を受ける県内中小企業者の連鎖倒産を防止するとともに、長期的な景気低迷により資金繰りが悪化している県内中小企業者の経営の安定を図ることを目的としています。

平成22年9月末 取扱残高 600件 94億円

◎ 青森県事業活動応援資金

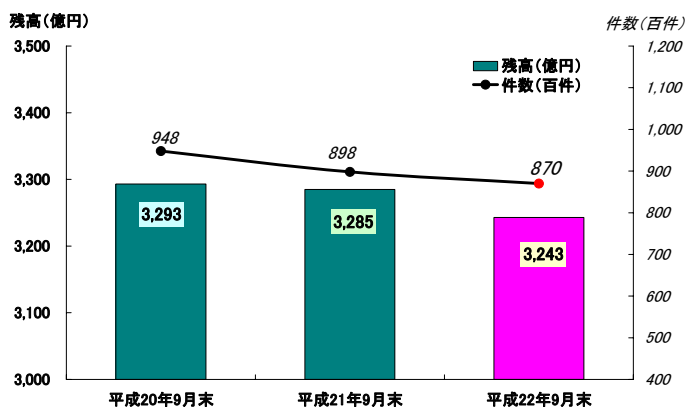
県内の中小企業者の資金需要に対し、事業活動に必要な資金の融資を行うことにより、県内中小企業の振興を図るとともに、地域経済の活性化に資することを目的としています。

平成22年9月末 取扱残高 13件 4億円

上記のほか、未来への挑戦資金、市町村特別保証制度としての小口資金や事業活動応援資金などを取扱っています。

(3) 個人向け貸出業務の状況

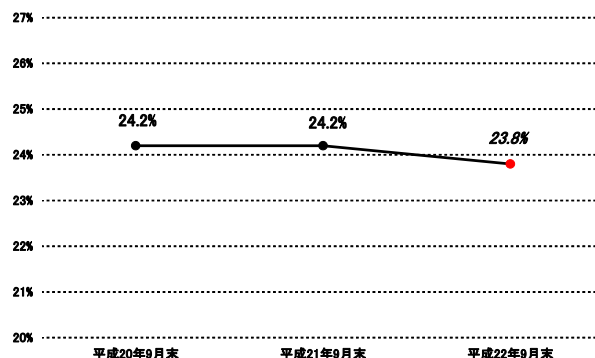
① 個人ローン残高、件数



平成22年9月末の個人ローンの残高は、住宅新規着工件数の減少、景気低迷に伴う個人消費の冷え込みの影響により、前年同月比1.3%減少し、3,243億円となりました。件数は同3.1%減少し、870百万件となりました。

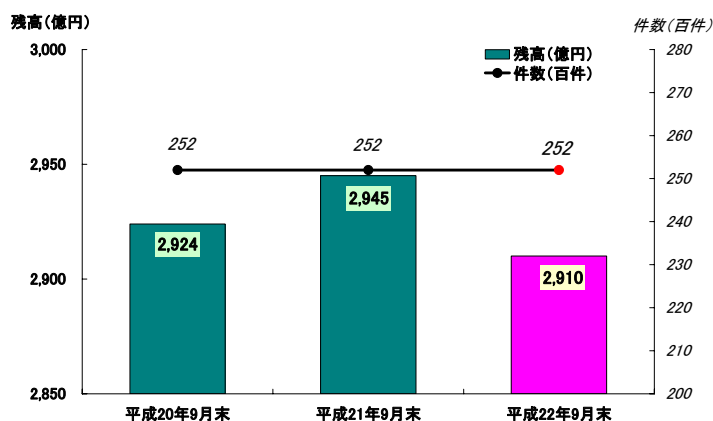
※個人事業主向け個人ローンを含みます。

② 貸出金残高に占める個人ローン残高、シェア



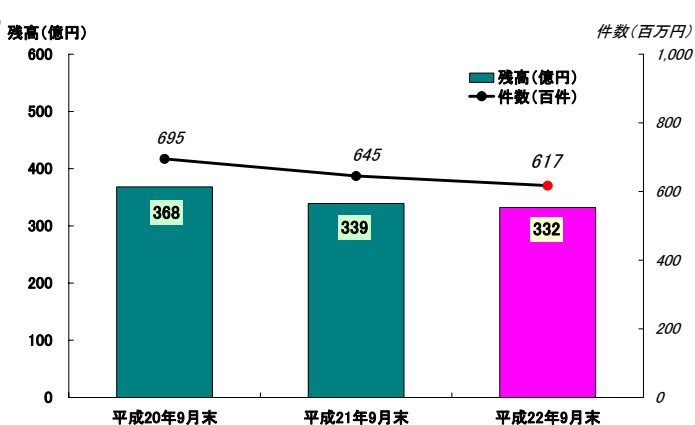
平成22年9月末の貸出金全体に占める個人ローン残高シェアは、前年同月比0.3ポイント低下し、23.8%となりました。

③ うち住宅関連融資残高、件数



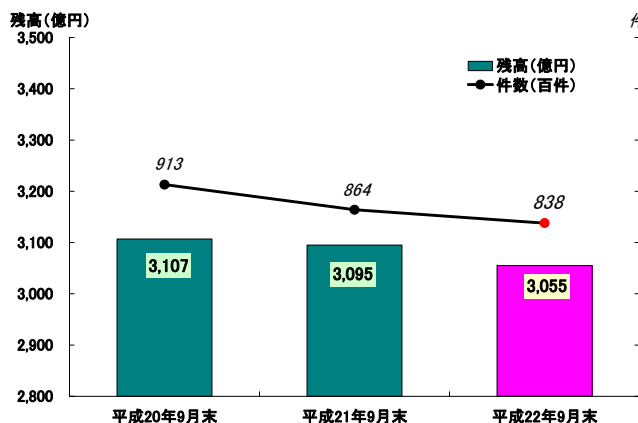
住宅新規着工件数の減少により、平成22年9月末の住宅関連融資残高は前年同月比1.1%減少し、2,910億円、件数は同0.1%減少し、252百万件となりました。

④ うち消費者ローン残高、件数 (カードローンを含む)



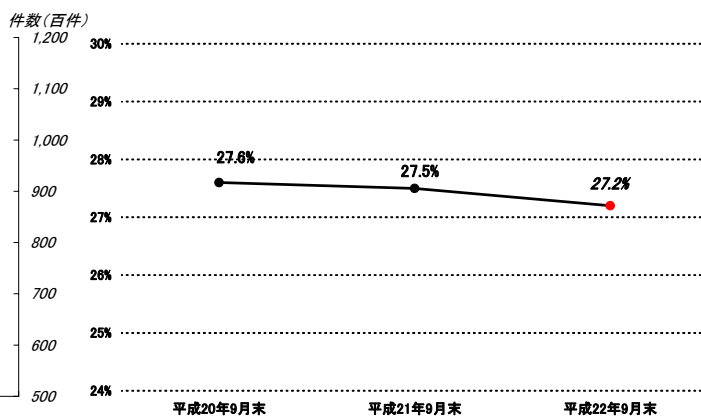
エコカー減税や新車買替え時の補助金制度の実施に伴い、マイカーローンの取扱いは増加したものの、カードローンの取扱い減少により、平成22年9月末の消費者ローン残高は前年同月比2.4%減少し332億円、件数は同4.2%減少し、617百万件となりました。

⑤ 県内の個人ローン残高、件数



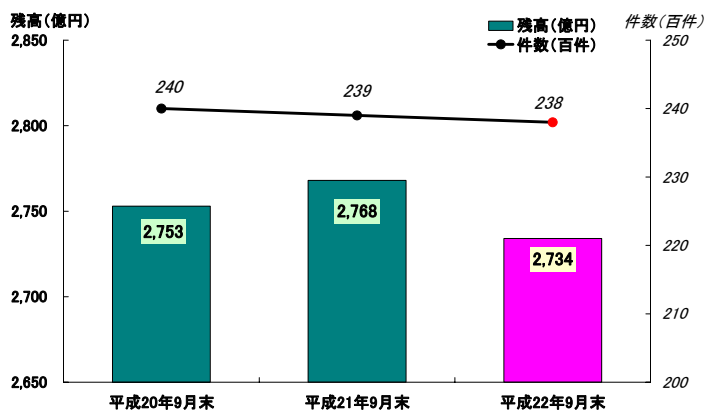
平成22年9月末の県内向け個人ローン残高は、前年同月比1.3%減少し、3,055億円、件数は同3.0%減少し、838百件となりました。また、平成22年9月末の県内向け個人ローンは、個人ローン全体の94.2%を占めています。

⑥ 県内向け貸出金残高に占める県内の個人ローン残高、シェア



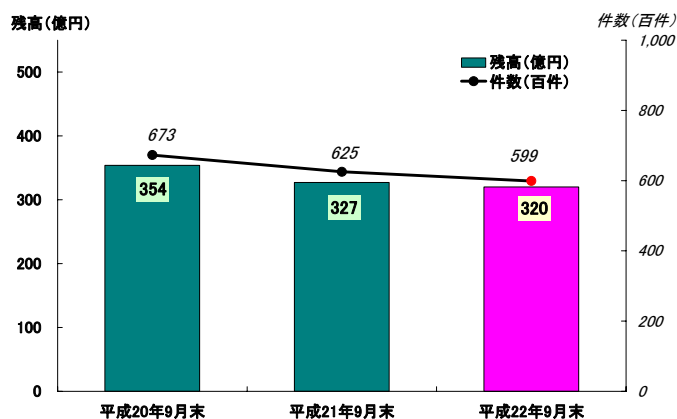
平成22年9月末の県内向け貸出金全体に占める県内の個人ローン残高は、前年同月比0.2ポイント低下し、27.2%となりました。

⑦ うち住宅関連融資残高、件数



平成22年9月末の残高は前年同月比1.2%減少し、2,734億円、件数は同0.1%減少し、238百件となりました。

⑧ うち消費者ローン残高、件数(カードローンを含む)



平成22年9月末の残高は前年同月比1.9%減少し、320億円、件数は同4.2%減少し、599百件となりました。

⑨ 個人向けローン商品の提供内容

マイカー購入や旅行・買い物など目的に合わせた資金計画のお手伝いをするため、マイカーローンやカードローン等のローン商品をご用意しています。また、「夢のマイホーム」の実現やご自宅のリフォームのお手伝いをするため、各種住宅ローン商品をご用意しています。

代表的な消費者ローン・カードローン：マイカーローン、教育ローン、

フリーローン<ゆとり王>、フリーローン「ライフサポート」、ツインカード
Aキャッシング、Aocca(アオッカ)

住宅ローン：スーパー住宅ローン、住実パワー、リフォーム大臣、

担保無用の助、サポート500

2. 地域のお客さまへの利便性提供の状況

(1) お客さま接点の状況

店舗等チャネルの状況

当行では、お客さまのニーズや各種商品・サービスの多様化、地域経済の動向等を背景に、店舗機能・ネットワークの再編を進めております。

有人店舗については、各店舗の役割を明確化し、法人・事業主さま向け、あるいは個人のお客さま向けにそれぞれ専門性の高いスタッフの配置を行い、お客さまの各種ご相談にお応えできる体制を整備しております。

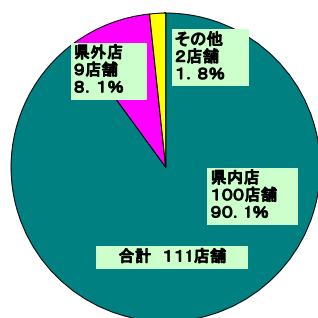
また地域特性に合わせた店舗運営形態の見直しにより、平成22年10月1日、現行の支店3カ店を出張所に変更いたしました。また、やむなく廃止を行う場合も、近隣店舗内に設置した支店内支店へ移行し、一定期間経過後に廃止を行う形でお客さまの利便性の確保にも努めております。

ATM（現金自動預払機）については、店舗ネットワークを補完するという観点から、コンビニATMとの提携による拡大を図ってまいりました。また、効率的なATM網の構築に向け、他金融機関との共同利用も進めております。

ダイレクトチャネルの展開も含め、お客さまに最適かつ効率的なネットワーク・チャネルの配置実現に向け、今後とも継続的な取り組みを行ってまいります。

① 店舗の状況

店舗数、シェア（平成22年9月末現在）



県内店	100カ店	<table border="0"> <tr> <td rowspan="3">}</td> <td>本店</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>支店</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>出張所</td> <td>9</td> </tr> </table>	}	本店	1	支店	90	出張所	9
}	本店			1					
	支店			90					
	出張所	9							
県外店	9カ店								
その他	2カ店	<table border="0"> <tr> <td rowspan="2">}</td> <td>ATM統括支店</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>イーネット支店</td> <td>1</td> </tr> </table>	}	ATM統括支店	1	イーネット支店	1		
}	ATM統括支店			1					
	イーネット支店	1							

当行の全店舗111カ店のうち県内店は100カ店であり、全体の90.1%を占めています。

店舗設置市町村数（平成22年9月末現在）

- 市・・・県内10市に設置。全80カ店設置。
- 町・・・県内22町のうち18町に19カ店設置
- 村・・・県内8村のうち1村に1カ店設置
- 県外・・・全9カ店

東京都／中央区1カ店

北海道／函館市3カ店、札幌市1カ店

秋田県／大館市1カ店、能代市1カ店

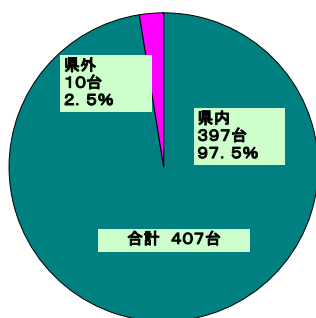
岩手県／盛岡市1カ店

宮城県／仙台市1カ店

② A T Mの状況

A T M設置数（平成22年9月末現在設置箇所及び台数）

	県内ATM設置数		県外ATM設置数		総ATM設置数	
	設置箇所	設置台数	設置箇所	設置台数	設置箇所	設置台数
店舗内	100	226	7	10	107	236
店舗外	159	171	0	0	159	171
小計	259	397	7	10	266	407
他金融機関幹事共同ATM	45	45	1	2	46	47
合計	304	442	8	12	312	454



*平成22年9月末現在のA T M設置台数454台（他金融機関幹事共同A T Mを含みます）のうち、県内に設置しているA T M台数は442台（同上）であり、全体の97.4%を占めています。

《バリアフリーへの取組み》

店舗入口スロープ設置店舗（段差解消）	71カ店
車いす利用可能トイレ設置店舗	12カ店
車いす利用可能A T M設置店舗	107カ店
車いす利用可能店舗外A T M	159カ所

あすなろN E T（平成22年9月末現在）

平成7年5月より、お客さまの利便性向上のため、当行と県内提携金融機関との間で他行A T M利用手数料の相互無料化を実施しました。これにより、通常時間帯（平日8時～18時）に当行のお客さまが提携金融機関のA T Mをご利用になった際、他行A T M利用手数料は無料となっています。

また、提携金融機関のお客さまが当行のA T Mをご利用された場合も同様にA T M利用手数料は無料となります。

コンビニA T M「E-net（イーネット）」（平成22年9月末現在）

県内のファミリーマート、ミニストップ、サークルK、サンクス、スーパーストアの合計72カ所の店舗に設置しています。

営業時間は平日7時から23時、土日祝日7時から21時となっています。

県外のイーネットA T Mでも当行A T Mと同様の手数料にてご利用いただけます。

（全国10,761台 平成22年9月末現在）

セブン銀行A T M（平成22年9月末現在）

平成19年3月19日、セブン銀行との提携を開始し、全国のセブン銀行A T Mのご利用が可能になりました。

営業時間は平日7時から23時、土日祝日7時から21時となっています。

お引出の際は、平日8時から18時が105円、それ以外の時間帯は210円の手数料を申し受けますが、お預入れ、残高照会は無料でご利用いただけます。

（全国14,948台 平成22年9月末現在）

休日の対応状況

ATM（店舗内、店舗外、コンビニ）は休日に関わらず1年365日営業しています。

ATM利用時の障害問い合わせ、照会等については、コールセンター（ATM集中監視業務）にて対応しています。

ATM提携の状況（平成22年9月末現在）

提携名称	県内設置状況	内 容
あすなろNET	平成7年5月1日～ 360カ所	県内全信用金庫、青森県信用組合、東北労働金庫、JAバンク青森の4業態5金融機関とのATM相互利用手数料無料提携（支払・残高照会〈県内全信用金庫、青森県信用組合は振込取引も含む〉、当行との共同ATMを除く）
アイ AAIネット	平成12年4月3日～ 12カ所	秋田銀行、岩手銀行とのATM相互利用手数料無料提携 秋田銀行3カ所、岩手銀行9カ所（支払・振込・残高照会）
ゆうちょ銀行提携(県内)	平成14年1月15日～ 361カ所	（入金・支払・残高照会）
クレジットカード会社等との ATM提携	19先	銀行系7、信販系7、流通系5
みちのく銀行との 一部ATM共同化	平成20年5月12日～ 34カ所	みちのく銀行との一部ATM(34カ所)について相互 利用手数料無料提携(支払・振込・残高照会)

③ ダイレクトチャネルの展開

■ 個人のお客さま向け

「忙しくて銀行に行けない」というお客さまのために「〈あおぎん〉つないでネ！ット」をご用意しております。

この「〈あおぎん〉つないでネ！ット」では、お客さまのご都合に合わせ、テレホンバンキング・インターネットバンキング・モバイルバンキングで、「口座残高や入出金明細の照会」ならびに「お振込」「お振替」等の様々なサービスを基本手数料無料でご利用いただけます。

インターネットバンキングにおいては、安心してご利用いただけるよう「SSL128ビット方式による暗号化」を採用し、ネット上の情報漏洩・データの改ざんを防ぎ、お客さまの情報を保護しております。

また、携帯電話をトークンとして利用する「ワンタイムパスワード」による不正アクセス防止機能を提供しセキュリティ強化を図っております。

インターネットバンキング	●	●	●	●	—	●	—	—	●	—	●
モバイルバンキング	●	●	●	●	—	—	—	—	●	—	—
テレホンバンキング	●	●	●	—	●	—	●	●	—	●	●
ご利用いただけるサービス	口座照会	振込	振替	振込・振替予約	(お預入・お引出) 定期預金・積立定期預金	定期預金(お預入)	外国送金	外貨普通預金	税金・各種料金払込み(ペイジー)	住所変更の受付	各種商品・サービスのご相談

■ 法人・個人事業主のお客さま向け

「銀行に行く時間を他の仕事にまわしたい」「もっと効率的に仕事をしたい」というお客さまのために、各種EBサービスをご用意しております。

各サービスでは暗証番号での本人確認実施など、セキュリティについても安心してご利用いただけるようになっております。

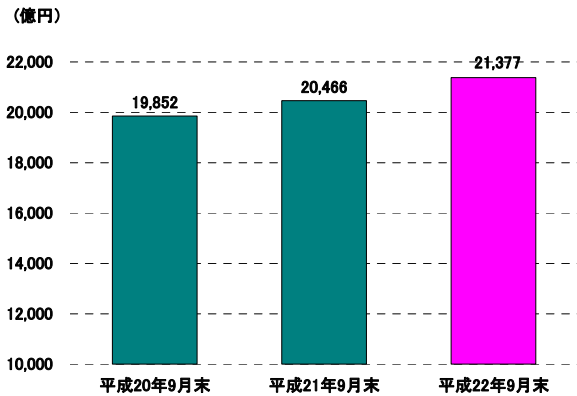
特に、ご利用申込みが増えている法人向けインターネットバンキング『AB-web』においては、使用いただくパソコンに電子証明書を格納する「電子証明書認証方式」を導入し、お客さまの情報保護強化に努めています。

また、EBサービス利用時間の拡大や機能の追加など、サービス内容の拡充を通じてご利用される皆さまの利便性の向上にも取り組んでおります。

ANSERサービス & データ伝送サービス	お手持ちのパソコンから、預金口座の残高やお取引明細の照会、振込・振替のリアルタイムでのお取引、および大量のデータを一括で処理する総合振込や給与、賞与振込、預金口座振替、地方税納入等のバンキングサービスがご利用いただけます。
AB-web (法人向けインターネットバンキング)	インターネットをご利用することにより、上記のサービスに加えて、各種料金の払込み(Pay-easy ペイジー)等のバンキングサービスがご利用いただけます。
FAX取引受付サービス	お手持ちのFAXから、総合振込、給与振込等のバンキングサービスがご利用いただけます。
あおもり ワイドネットサービス	売掛金等の代金回収業務を、貴社に代わって「青銀ビジネスサービス(株)」(当行関連会社)が行います。
コンビニ収納サービス	各種売上代金等を、全国の提携コンビニを通じて回収できます。

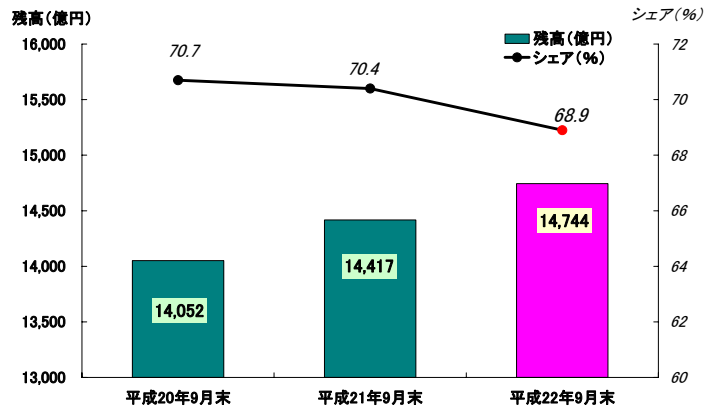
(2) 預金業務等の状況

① 総預金残高



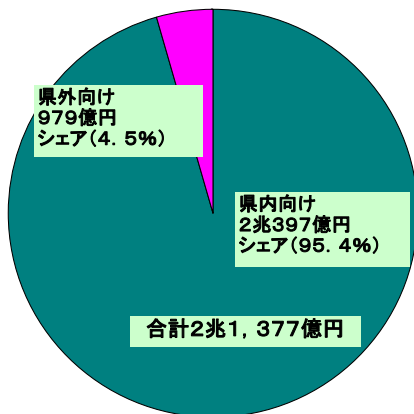
平成22年9月末の総預金(譲渡性預金を含む)は、前年同期比4.4%増加し、2兆1,377億円となりました。

② 個人預金残高、シェア



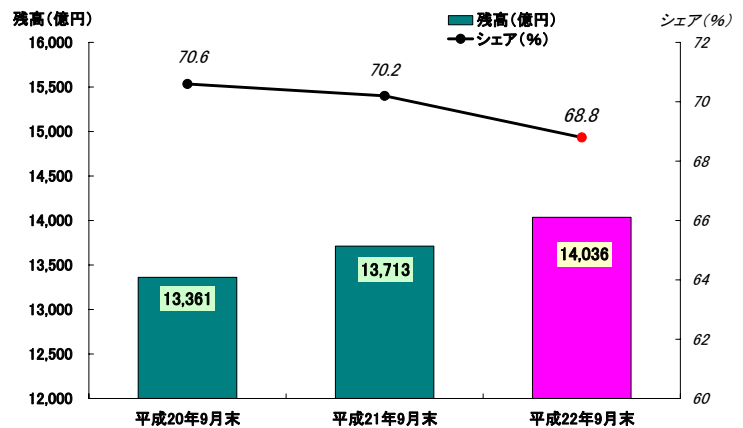
平成22年9月末の個人預金残高は、前年同期比2.2%増加し、1兆4,744億円となりました。また、預金全体に占める個人預金のシェアは、同1.4ポイント低下し、68.9%となりました。

③ 県内の総預金残高、シェア (平成22年9月末)



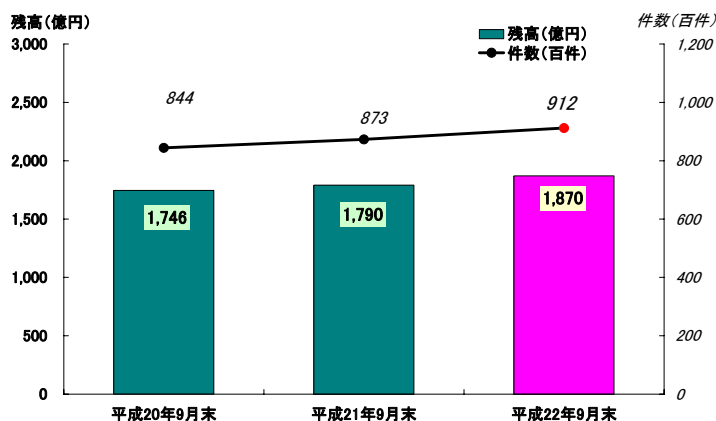
地元青森県内の総預金残高は、2兆397億円であり、預金全体の95.4%を占めています。

④ 県内の個人預金残高、シェア



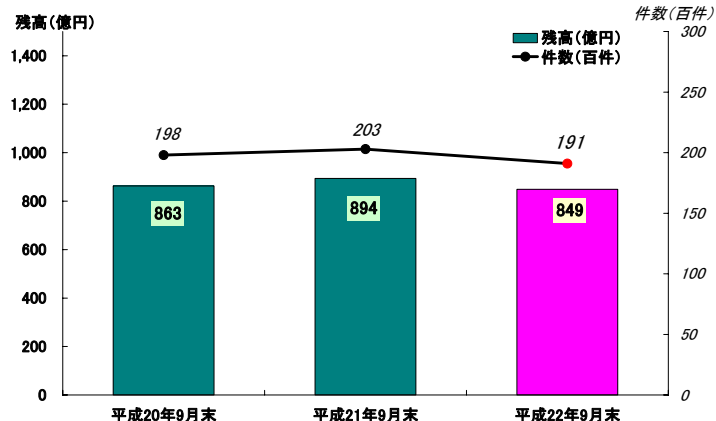
平成22年9月末の県内の個人預金残高は、前年同期比2.3%増加し、1兆4,036億円となりました。また、県内預金全体に占める県内の個人預金シェアは、同1.4ポイント低下し、68.8%となりました。

⑤ 預り資産残高、件数



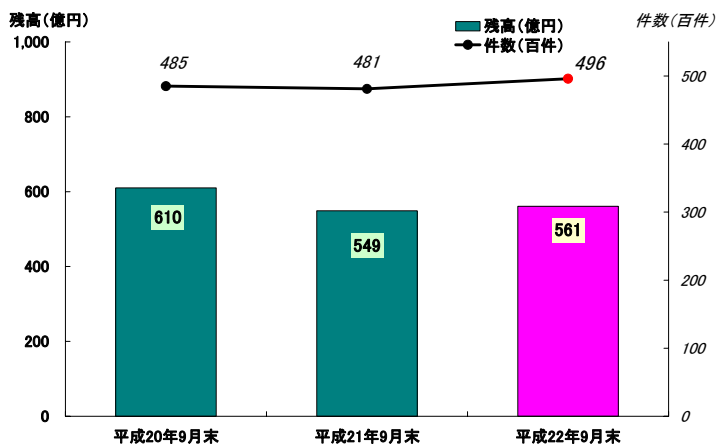
平成22年9月末の預り資産残高は、前年同期比4.4%増加し、1,870億円、件数は、同4.4%増加し、912百件となりました。

⑥ うち公共債



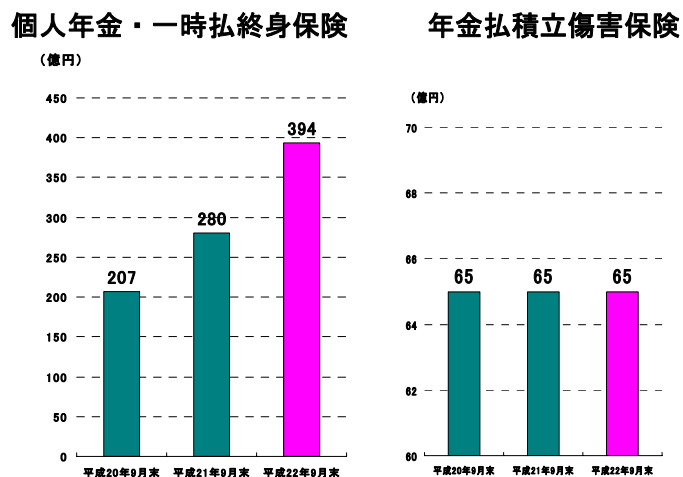
平成22年9月末の公共債残高は、前年同期比5.0%減少し、849億円、件数は、同5.8%減少し191百件となりました。

⑦ うち投資信託



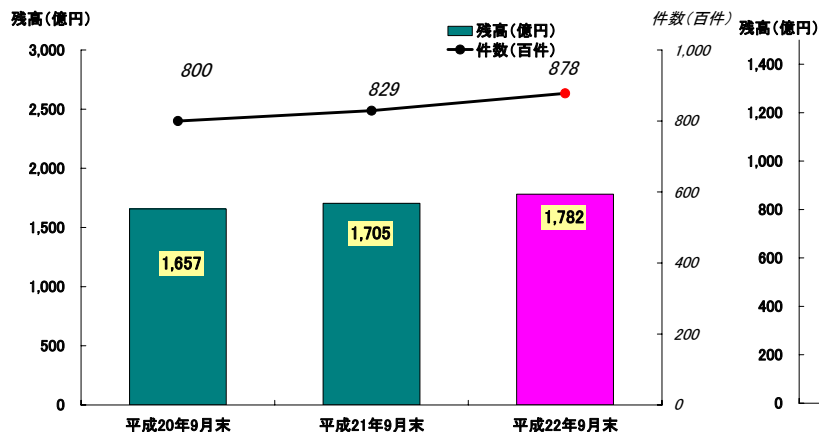
平成22年9月末の投資信託残高は、前年同期比2.1%増加し、561億円、件数は、同3.0%増加し、496百件となりました。

⑧ うち個人年金・一時払終身保険、年金払積立傷害保険



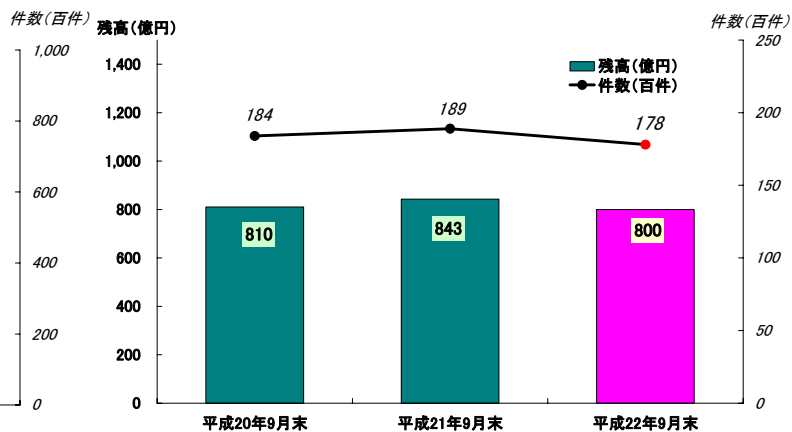
平成22年9月末の個人年金・一時払終身保険残高は、前年同期比40.2%増加し、394億円となり、年金払積立傷害保険残高は、同横ばいの65億円となりました。
※残高については、初回保険料のみ計上しています。

⑨ 県内の預り資産残高、件数



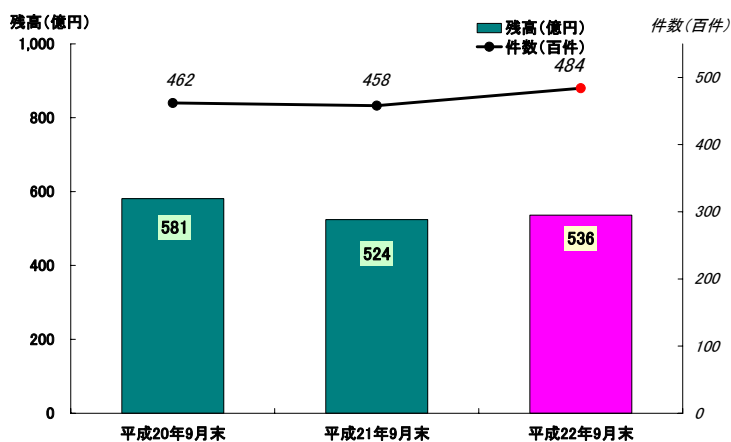
平成22年9月末の預り資産のうち県内分の残高は、前年同期比4.5%増加し、1,782億円、件数は、同5.9%増加し、878百件となりました。県内の預り資産は、預り資産全体の95.3%を占めています。

⑩ うち公共債



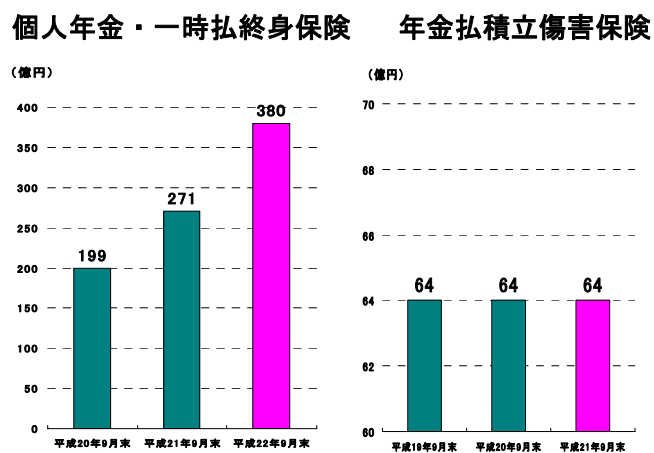
平成22年9月末の公共債のうち県内分の残高は、前年同期比5.1%減少し、800億円、件数は同、5.9%減少し、178百件となりました。

⑪ うち投資信託



平成22年9月末の投資信託のうち県内分の残高は、前年同期比2.2%増加し、536億円、件数は、5.6%増加し、484百件となりました。

⑫ うち個人年金・一時払終身保険、年金払積立傷害保険



平成22年9月末の個人年金・一時払終身保険のうち県内の残高は、前年同期比39.8%増加し、380億円となり、年金払積立傷害保険の残高は、同横ばいの64億円となりました。

※残高については、初回保険料のみ計上しています。

⑬ 地域のお客さまへの利便性提供に資する取組み状況

当行では、お客さまお一人おひとりのご要望やライフスタイルに合わせた資産計画にお応えするために、魅力ある商品・サービスを各種ご用意しています。皆さまの毎日の暮らしや将来計画の実現をお手伝いするパートナーとしてお役に立ちたいと考えています。

〈 預金商品 〉 代表的な預金商品

◎ 自由金利型定期預金〈スーパー定期〉

・最もお客さまに親しまれている預金商品。預入期間も1ヵ月～10年と幅広く設けられています。金利は市場実勢に応じて決定されます。

◎ 〈あおぎん〉資産運用パック「みのり計画」

・「円貨定期預金」と「投資信託」を同時に申し込むことで、円貨定期預金の金利に特別金利が適用される資産運用商品です。

〈 年金相談会、投資信託セミナー等の開催 〉

年金相談会を県内8支店において、毎月1回開催しています。また、県内各地区において支店単位等で適宜お客さま向けの資産運用に関するセミナーを開催しています。

〈 マネーカウンセラーについて 〉

当行では個人のお客さまの資産運用に関するご相談を承る「マネーカウンセラー」を県内外の本支店に配置しています。

「マネーカウンセラー」はファイナンシャル・プランニング技能士等の公的資格を持ち、専門の教育を受けた資産運用相談の専門担当者です。将来のセカンドライフへ向けて資産を少しでも殖やしたい、退職金の運用を考えているなど、様々なご相談に対応しておりますので、資産運用についての悩み・疑問がありましたらお気軽にお声掛け下さい。お客さまのお話をじっくり伺って、お一人おひとりに合わせたオーダーメイドのコンサルティングをさせていただきます。

〈 「保険ラインナップ」の拡大 〉

当行では、多様化するお客さまのニーズにお応えするため、「保険商品ラインナップ」の拡大と取扱店舗の拡充を図っています。

生命保険商品では、個人年金保険（一時払変額型 2 商品、平準払変額保険型 1 商品、一時払定額型 2 商品、平準払定額型 2 商品、一時払外貨型 1 商品の計 8 商品）、一時払終身保険（円建 2 商品、外貨建 2 商品の 4 商品）、医療保険・がん保険・こども保険（各 2 商品、計 6 商品）を取扱いしています。

一時払い終身保険については、平成 22 年 4 月 1 日より、取扱店舗を全店（東京支店、ローンプラザ青森支店、南郷出張所を除く）に拡大した結果、平成 22 年 9 月末の残高が 2.2 億円（395 件）となり、相続対策商品としてご好評いただいております。

こども保険については、平成 22 年 6 月 1 日より、取扱店舗を全店（東京支店、ローンプラザ青森支店、南郷出張所を除く）に拡大しております。

個人向け損害保険商品では、長期火災保険（2 商品）、ニーズ細分型自動車保険（1 商品）を取扱いしております。

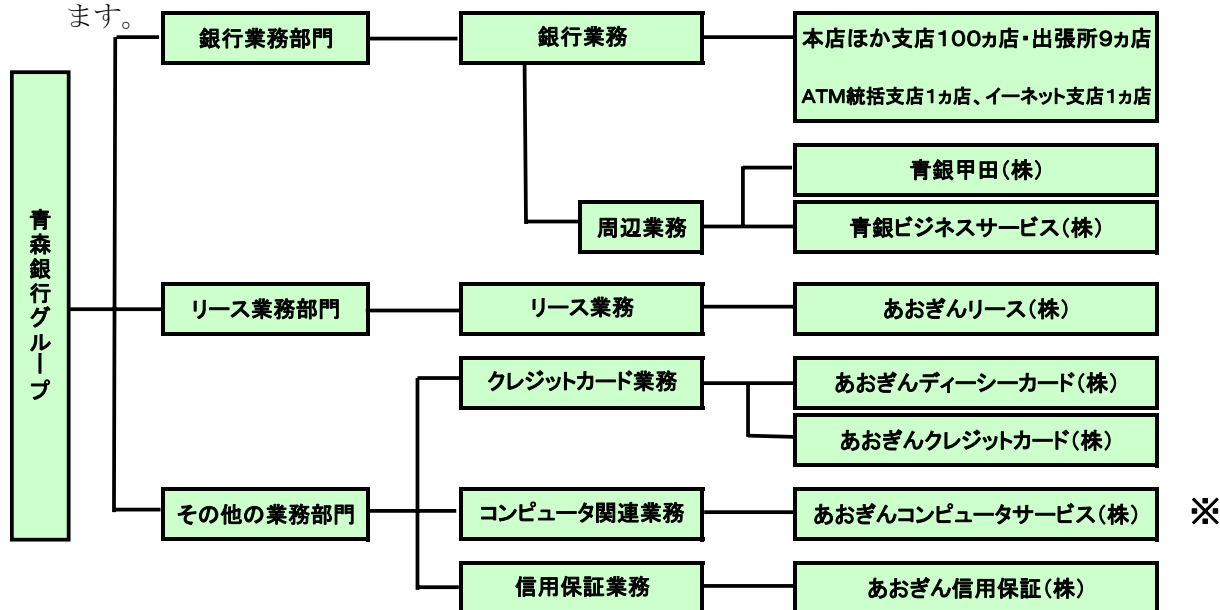
企業向け生命保険商品（定期保険、低解約返戻金型定期保険、低解約返戻金型逡増定期保険）については、平成 22 年 10 月 1 日より取扱店舗を全店（東京支店、ローンプラザ青森支店、南郷出張所を除く）に拡大いたしました。なお、募集手続きは営業統括部支店支援課にて行っております。

今後とも、お客さまの様々なニーズにお応えできるよう、商品およびサービスのより一層の充実を図り、利便性の向上に努めてまいります。

(3) その他

① 子会社等を通じた利便性提供の状況

青森銀行グループは、当行および子会社・連結子会社 7 社で構成され、銀行業を中心に、リース業務、クレジットカード業務などの事業を行ない、幅広い金融サービスを提供しています。



平成22年9月30日現在

※あおぎんコンピュータサービス(株)は平成22年10月31日をもって解散し、青銀ビジネスサービス(株)に事業を譲渡しております。

3. 地域経済活性化への取組み状況

(1) 地元企業に対する経営サポートの状況

① 地元企業の経営相談等への取組み状況

◎ 第1回「アグリパートナーセミナー」開催

青森県内の「食」関連事業の事業拡大を支援するために、当行主催により、平成22年9月2日、青森県観光物産館アスパムにて、第1回「アグリパートナーセミナー」を開催しました。農業者や食関連事業者を中心に約80名の皆さまが参加しました。

セミナーでは、第一部でKマーケティング&コンサルティング(株) 代表取締役 山崎功治氏より「～商談会成功の秘訣～」、第二部では(社)青森県薬剤師会衛生管理センター所長 川村 仁氏より「～食品加工現場における衛生管理～」と題して講演をいただきました。

講演では、「敵を知り、己を知り、お客を知らば、百戦危うからず」、「商談会においては目標と目的をはっきりさせる」などの講演をいただき、参加者との積極的な意見交換が行われていました。



◎ (財) 青森地域社会研究所の活動

(財) 青森地域社会研究所は、昭和53年7月に、当行が創業100周年を記念して設立した地域型シンクタンクです。同研究所は、県内地域社会に関する経済、社会、文化、歴史等全般的分野についての調査研究や地域産業育成のための助成事業を行なっています。

また、調査研究結果を刊行物として定期的に発行するなど、地域経済社会の発展に貢献しています。

◎ 青森銀行研修所の活動

当行研修所では、平成5年の当行創立50周年を機に、県内の全事業所、従業員を対象とした研修制度をスタートさせました。人材育成研修の企画・実施、セミナーの開催、研修講師派遣等の活動を行っています。

② 地元企業の再生への取組み状況

◎ 「企業支援室」による経営改善指導等

当行の企業理念である「地域のために お客さまとともに 人を大切に」のとおり、地域の発展なくして当行の発展はないとの考えから、経営改善を必要とするお取引先に対しては支援専門担当部署として平成15年4月に設置した「企業支援室」が中心となり、経営改善に向けた支援・相談に積極的に取り組んでいます。

具体的には、企業経営者との面談を実施し、問題点や課題を共有するとともに経営改善計画の策定に深く関わりながら、経営者と一体となって経営改善に取り組んでいます。さらに、公認会計士や経営コンサルタント等外部専門機関との情報交換を通じながら、適時、適切なアドバイスを行えるよう体制も整え実施しております。

なお、平成22年上期の要注意先債務者の健全化等に向けた取組みでは、債務者区分のランクアップは14先の実績となっております。

◎ 政府系金融機関と業務協力提携

当行は、日本政策投資銀行、商工組合中央金庫、日本政策金融公庫の各政府系金融機関と相互の連携をより一層強化するため、業務協力に関する覚書を締結しております。

業務協力により、当行と政府系金融機関双方の業務特性を活かして、地域への円滑な資金供給を図り、地域経済の活性化に貢献してまいります。

(2) 企業育成への取組み状況

◎ 第14回あおぎん地域産業育成助成金「エンジェル」を贈呈

当行では、地域産業育成の観点から、県内企業の新技術・新製品、新サービスの研究開発を助成金交付により支援する事業を行っております。

第14回目となった平成22年度は、「大豆発酵素材による耐冷凍性メカニズムの解明とその応用」により有限会社こむぎ工房（八戸市）が選ばれました。

これまで22企業・1個人の23先に対し助成しています。



(3) 地方公共団体の事業との関係

青森県内には、青森県を含め41の地方公共団体（平成22年9月末現在）があり、当行ではこのうち青森県をはじめ、県内全市（10市）と21町村のあわせて32の地方公共団体から指定金融機関の指定を受け、地域の中核金融機関として、公金業務を取扱いしています。

また、地域社会のよりよい環境づくりのため、地方公共団体、公社などへのご融資、地方債の引き受けを通じて学校、病院など公共施設の整備に協力するとともに、地方公共団体の収納・支払事務について、口座振替の推進および電子化等に積極的に取組み、地域の皆さまへの利便性向上に努めております。

さらに、当行の関連シンクタンクである（財）青森地域社会研究所では、地方公共団体の各種調査、研究事業等を受託しております。

◎ 当行の指定金融機関シェア（平成22年9月末現在）

	全 体	当 行 (シェア)
指定金融機関指定先数	41(1 県 10 市 22 町 8 村)	32(1 県 10 市 17 町 4 村) (78.0%)
人口（注1）	1,436,628 人	1,345,535 人 (93.7%)
財政規模（注2）	614,417M	561,077M (91.3%)

（注1） : 国勢調査（H17.10.1現在）

（注2） : 平成20年度市町村「歳入」決算額

4. 地域への支援活動の状況

◎ 第18回「あおぎん賞」受賞者を表彰

県内の産業や文化の振興に貢献した個人や団体を表彰する「あおぎん賞」。第18回目の平成22年度は、地域との共存を第一に考えた「資源循環型畜産」への取り組みに成功、また牧場内に自家飼育のジャージー牛の牛乳から製造したジェラートを提供する工房をオープンし、東北新幹線七戸十和田駅を拠点とする新たな観光資源としても期待されている「有限会社金子ファーム（七戸町）」、五所川原市の特産品である果実まで赤い「赤～いりんご」を用いた新商品の企画・開発、県内外での積極的なPR活動を通じ、「赤～いりんご」の全国ブランド化と、地域活性化に大きく貢献した「赤～いりんご応援隊（五所川原市）」の2団体が受賞しました。

これまでの受賞者は、44団体・7個人の51先となっております。



表彰式の様子 (有)金子ファーム(七戸町)



表彰式の様子 赤～いりんご応援隊(五所川原市)

◎ 「小さな親切」運動による活動

当行では、「小さな親切」運動青森県本部の事務局として、毎年「春のクリーン大作戦」を実施しております。15回目となる平成22年度も県内各地で約10万人の参加者がそれぞれの地区の清掃に取り組みました。

また、東北新幹線全線開業を記念して、第16回「秋のクリーン大作戦」も開催し、多くの皆さまの参加をいただきました。



◎ 農業ボランティアへの参加

地域開発部では、社会貢献活動の一環として、青森県が昨年より実施している「農山漁村と企業の連携活性化事業」に賛同し、農業ボランティア活動に参加しています。

平成22年5月には農事組合法人上小国ファームで田植え、6月には有限会社ゆめりんごでりんごの実すぐり、10月には長谷川自然牧場で豚の飼育作業のお手伝いをしました。



◎ がん検診受診率の向上に向けて

当行では、CSRの観点から、青森県におけるがん検診の受診率向上に向けて、青森県と連携・協力して推進していくことについて、平成21年11月に合意書を締結いたしました。

その取り組みの一環として、平成22年6月には一般のお客さま向けに「がんセミナー」を開催し、約80名の皆さまに参加をいただきました。がん検診受診率向上に向けた取り組みとしては、平成21年12月の女性職員を対象とした「乳がん検診セミナー」、平成22年1月より実施しているピンクリボン運動に続き3例目となりました。



◎ 地域企業活性化に向けて「Netbix 商談会」の開催

お取引先の商品や商材等の販路拡大支援などを目的として、北東北三行（青森銀行・秋田銀行・岩手銀行）では、お客さまのビジネスニーズを共有し、ビジネスマッチングの機会創出などを図るため、Netbix（ビジネス情報交換ネットワーク）を発足しております。

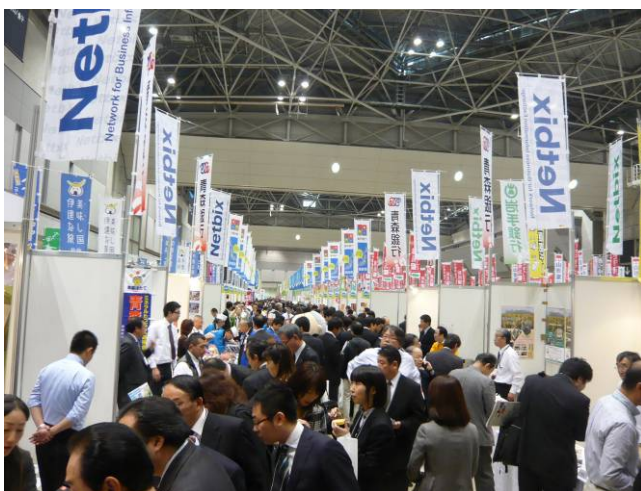
平成22年5月には、東北新幹線全線開業を記念して、JR東日本グループの株式会社日本レストランエンタプライズさまとの個別商談会を開催しました。7月には秋田市において(株)タカヤナギさま、仙台市において(株)ローソンさまとの個別商談会も継続開催しております。

また、新たな取り組みとして平成22年10月には岩手県北上市において「北東北三行ものづくり企業フォーラム in 北上」を開催、独自の技術や商品を有する北東北三県の「ものづくり企業」15社がプレゼンテーションを行い、サンプル品の展示や商談を行いました。

平成22年11月には、東京ビッグサイトにおいて「地方銀行フードセレクション2010」に参加、県内の食品サプライヤーの皆さまと食品バイヤーとの出会いの場を提供しました。



㈱日本レストランエンタプライズ(NRE)との商談会 当行本店



地方銀行フードセレクション2010 東京ビッグサイト